
赤潮情報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
 平成30年8月3日

八代海赤潮情報No.6

[1] 8月2日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

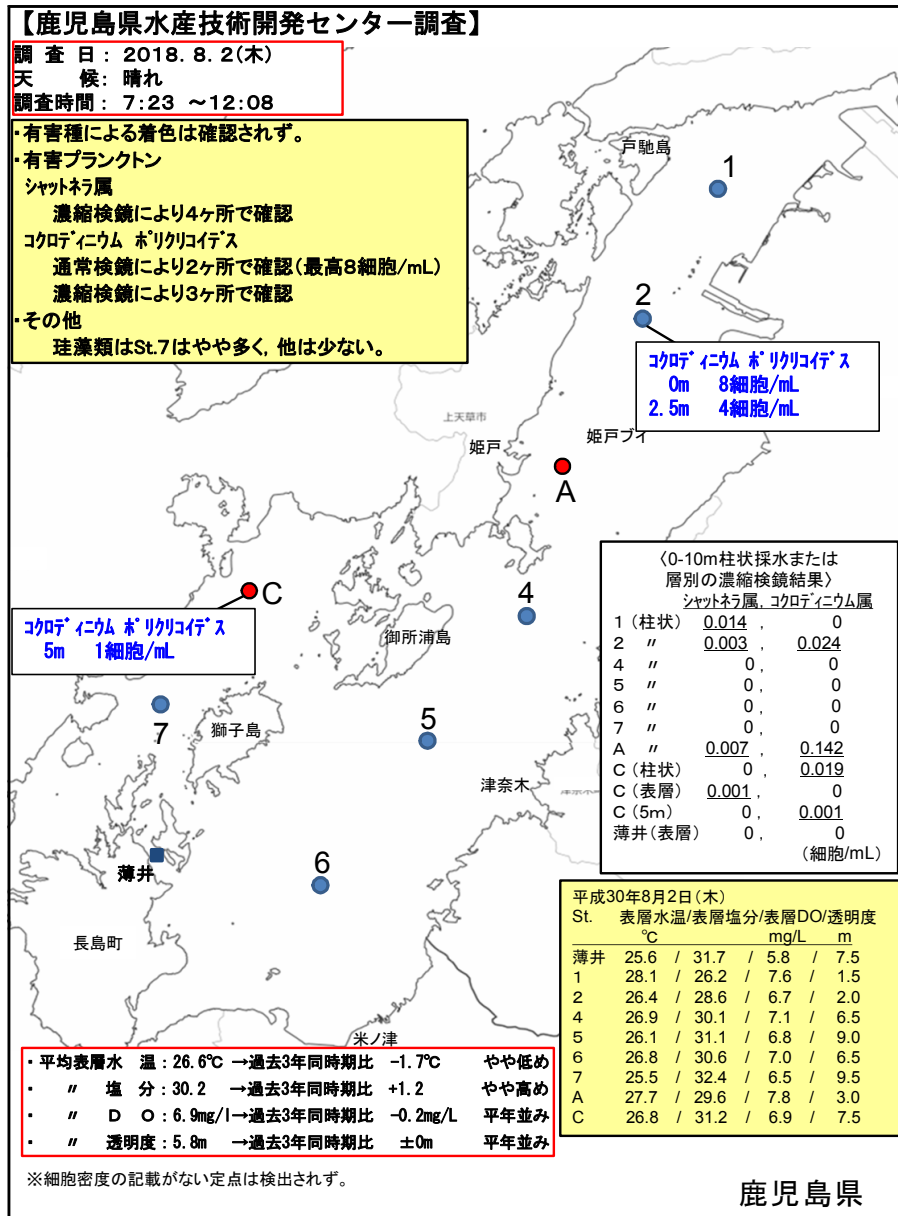
全調査点において、有害種による着色は確認されませんでした。
 シャットネラ属が濃縮検鏡により4ヶ所で確認されました。
 コクロディニウム ポリクリコイデスが通常検鏡により2ヶ所で最高8細胞/mL、濃縮検鏡により3ヶ所で確認されました。
 珪藻類については、St.⑦はやや多く、他は少ない状況でした。

(2) 海況

表層水温は八代海全域で25.5~28.1℃で過去3年同時期よりやや低め、塩分は26.2~32.4でやや高め、透明度は1.5~9.5mで同時期並みとなっています。

表層水温：平均 26.6℃ (28.3℃)
 表層塩分：平均 30.2 (29.0)
 透明度：平均 5.8m (5.8m)

※()は過去3年同時期調査における平均値



[2] 今後の赤潮発生の予想
 有害種であるシャットネラ アンティーカ及びコクロディニウム ポリクリコイデスが確認されました。

熊本県が有明海及び八代海にシャットネラ警報を発令しており、2日の同県の調査では戸馳島付近で通常検鏡により本種が確認されています。

現在、競合種である珪藻類は1ヶ所を除いて少ない状況であること、今後、晴天が続く予報であることから、状況によっては有害種が増殖する可能性があり、注意が必要です。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的な検鏡等を継続し、十分な監視をお願いします。

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

